

ソフトウェアテストといえば

SHIFT

2016年8月期 第1四半期決算説明会資料

株式会社SHIFT(証券コード:3697)

2016年 1月12日

1. エグゼクティブサマリー
2. 決算概要
3. 成長戦略の進捗
4. 今期計画および足元

1. エグゼクティブサマリー

1. エグゼクティブサマリー

FY2016 事業方針		中期成長戦略「SHIFT' 100」元年として、売上高、売上総利益の成長を維持しながら、海外展開、サービス領域拡大のための投資活動を推進
FY 2016 1Q	決算概要	<ul style="list-style-type: none">■ 売上高 実績: 1,140百万円 (前年同期比 73.1%増)■ 売上総利益 実績: 341百万円 (前年同期比 41.7%増)■ 営業利益 実績: 55百万円 (前年同期比 35.3%減)<ul style="list-style-type: none">□ 売上高・売上総利益ともに好調、過去最高値を更新□ 中長期成長に向けた投資活動 (M&A、海外進出、ESOP等)のため営業利益は低下
	事業概要	<ul style="list-style-type: none">■ 受注環境は、前期に引き続き好調<ul style="list-style-type: none">□ エンタープライズ領域は、既存顧客との取引が順調に拡大、新規取引も順調に推移□ エンターテインメント領域は、テスト案件の谷間時期ではあるが、“保守運用”サービスが好調に推移し、売上は増加
	トピックス	<ul style="list-style-type: none">■ グローバル進出<ul style="list-style-type: none">□ ベトナムにソフトウェアテスト拠点設立決定■ M&A<ul style="list-style-type: none">□ 株式会社リベロ・プロジェクトの新規子会社化決定 ソフトウェア開発に精通した優秀な人材の確保、パートナー人員削減へ向けた貢献を期待
FY2016 通期 業績予想		<ul style="list-style-type: none">■ トップラインは引き続き堅調な成長を見込みつつ、投資予算を上積み計上<ul style="list-style-type: none">□ 当初予想 売上高(46億)、営業利益(4.5億)□ 修正後予想 売上高(51億)、営業利益(3.6億)

2. 決算概要

2. 決算概要

売上高、売上総利益ともに過去最高を記録し堅調な拡大を進める積極的な先行投資により、営業利益率は低下

単位:百万円	FY2016 1Q	FY2015 1Q	前年同期比	FY2015 4Q	前四半期比
売上高	1,140	658	+73.1%	1,020	+11.8%
売上総利益	341	240	+41.7%	316	+7.8%
売上総利益率	※1 29.9%	36.6%	△6.7pt	31.0%	△1.1pt
販管費	※2 285	155	+84.2%	216	+32.3%
営業利益	55	85	△35.3%	100	△44.9%
営業利益率	4.9%	13.0%	△8.1pt	9.9%	△5.0pt
経常利益	55	78	△29.8%	99	△44.7%
税前利益	55	79	△30.1%	99	△44.7%
親会社株主に帰属する四半期純利益	37	50	△26.8%	55	△33.7%

※1 増床による経費増加、外部パートナー利用拡大によりQonQで低下。内製化等により回復傾向。

※2 M&A案件のための外部調査費、ESOP準備費用などにより販管費の増加に繋がった。

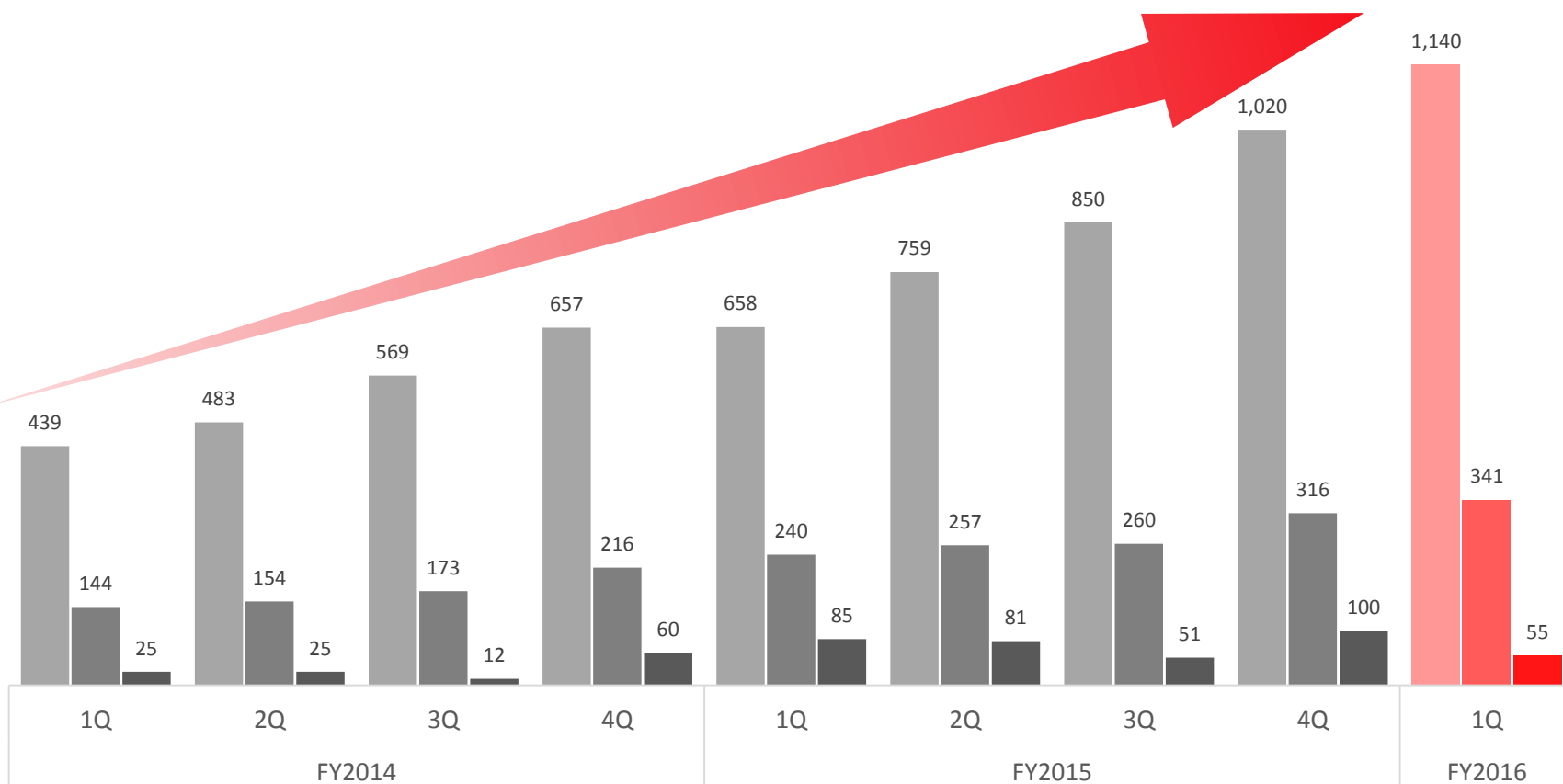
2. 決算概要

四半期業績推移

トップラインは、引き続き堅調に拡大
更なる成長へ向けた重要な時期と判断し、積極的な投資を進める

(百万円)

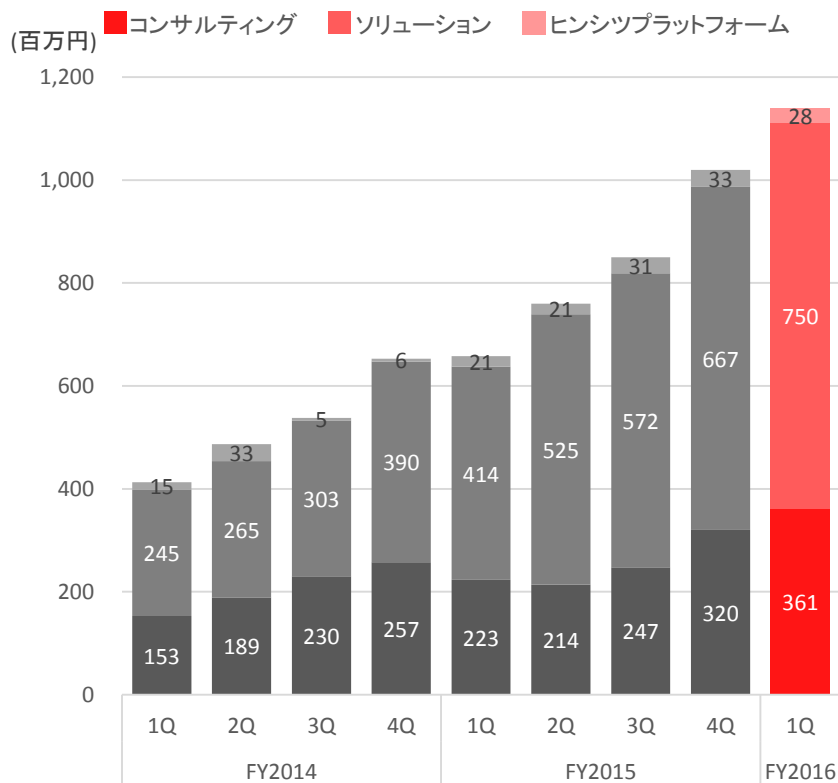
■ 売上高 ■ 売上総利益 ■ 営業利益



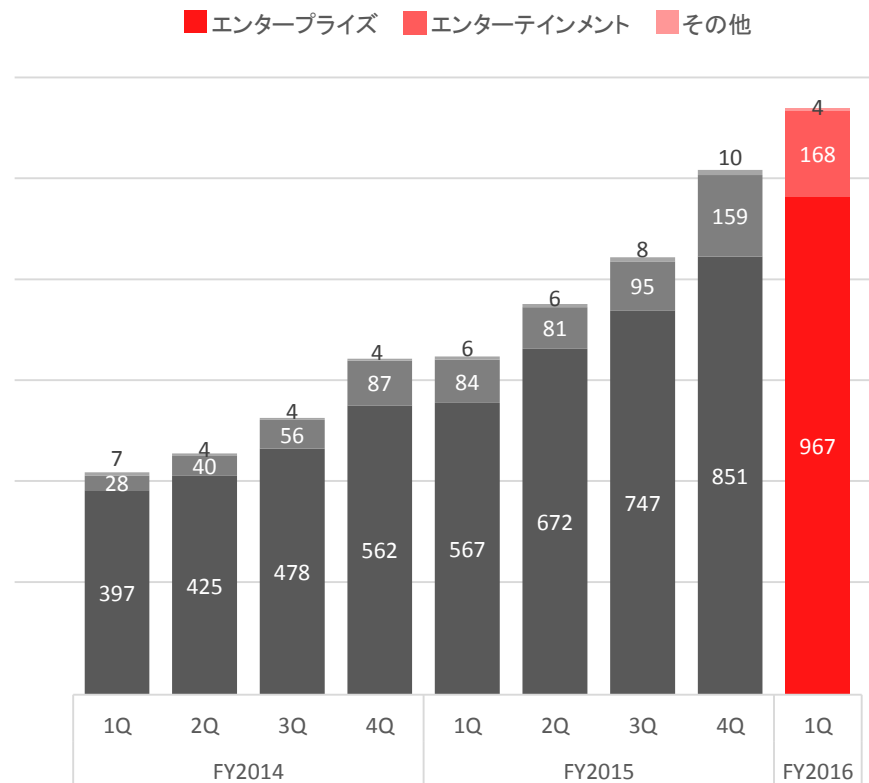
2. 決算概要

開発上流工程からの参画案件増加に伴い、強みを活かしたコンサルティングが順調に拡大
エンタメ領域は、「運用」フェーズでの受注と、業界大手および成長企業でのシェア拡大が進む

サービス別業績推移



対面市場別業績推移



2. 決算概要

販管費の推移

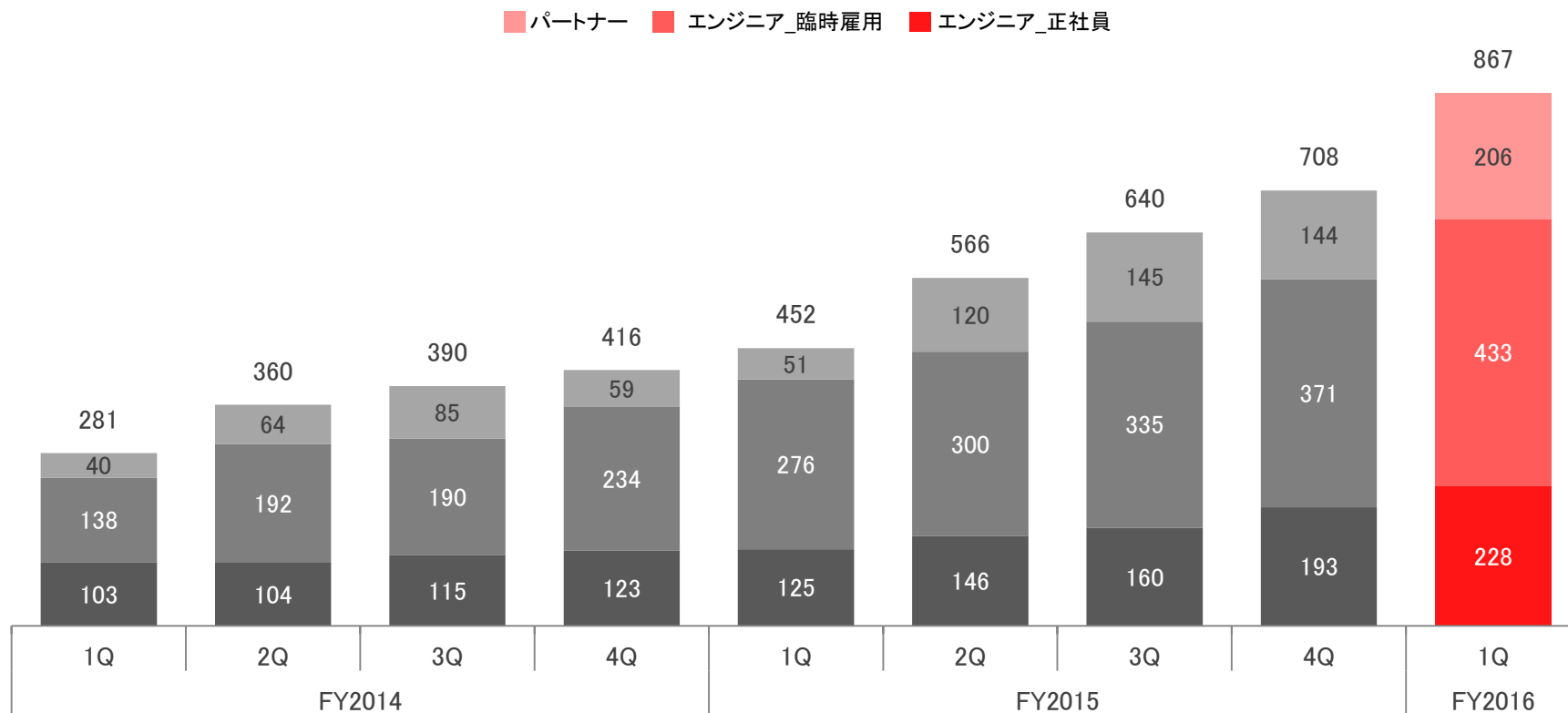
M&A準備、海外進出に備えた人材増加により人件費が増加

M&A調査費用、社内インセンティブ関連費用により支払報酬が増加

単位: 百万円	FY2016 1Q		FY2015 1Q		FY2015 4Q		備考
	実績	対売上高比	実績	対売上高比	実績	対売上高比	
人件費	132	11.7%	93	14.2%	117	11.6%	人員増、昇給、ESOP引当金の計上
採用費	58	5.2%	14	2.2%	45	4.5%	入社者が多いため、人材紹介料増加
地代家賃	10	0.9%	7	1.1%	6	0.7%	増床時の準備期間にかかる地代家賃分の増加
支払報酬	23	2.0%	9	1.5%	7	0.7%	MA関連費用 社内インセンティブ関連費用
その他	60	5.3%	30	4.6%	38	3.7%	創立10周年記念イベントなどで、一時的な費用が発生
合計	285	25.1%	155	23.6%	216	21.2%	-

2. 決算概要

積極的な人材採用を継続実施しながら、需要に追いつかずパートナー利用も拡大



- ※ 末日時点での雇用契約が有効な人員数。
- ※ 登録型アルバイトの人員は含まれておりません。
- ※ バックオフィスの人員は含まれておりません。

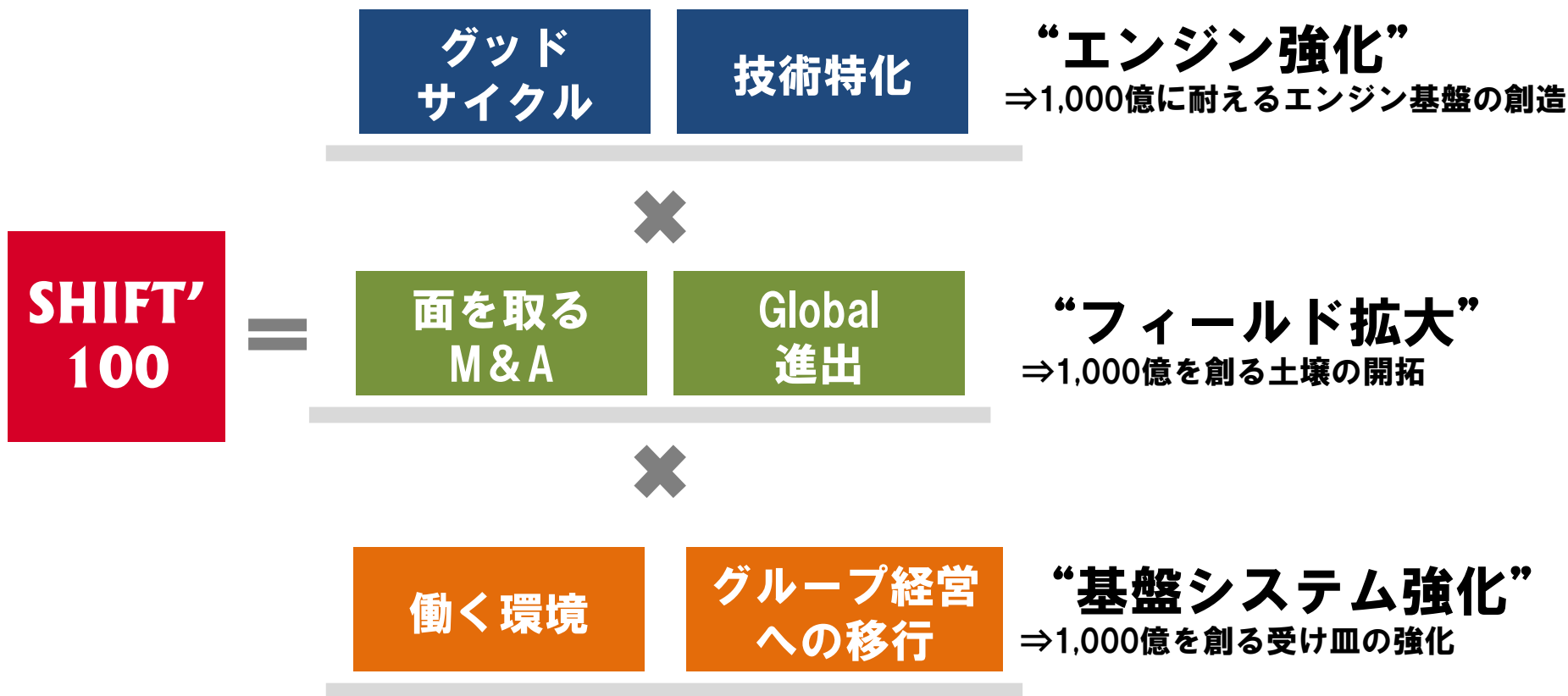
2. 決算概要

税金支払等により現金及び預金が減少したものの、財政状態に重要な変動はなし

単位:百万円	FY2016 1Q	FY2015 1Q	前年同期末比	FY2015 4Q	前期末比
流動資産	1,718	1,332	+29.0%	1,802	△4.7%
うち現金及び預金	1,000	979	+2.2%	1,286	△22.3%
有形固定資産	178	128	+38.7%	151	+17.9%
無形固定資産	93	61	+51.7%	99	△6.2%
投資その他	179	102	+75.1%	171	+4.8%
総資産	2,168	1,624	+33.5%	2,224	△2.5%
流動負債	598	373	+60.1%	692	△13.5%
固定負債	16	10	+51.6%	16	+2.8%
自己資本	1,526	1,239	+23.1%	1,489	+2.5%
新株予約権	2	-	-	2	-
非支配株主持分	25	-	-	24	+1.5%

3. 成長戦略の進捗

1,000億を実現するための100億を創る



3. 成長戦略の進捗

更なる事業規模の拡大を加速させるエンジンとフィールド基盤、それに耐える企業基盤の構築を進める

エンジン強化

**フィールド
拡大**

**基盤システム
強化**

- サービス価値連鎖向上
- Sler勝ちパターン構築
- エンタメ領域の拡大
- IoTへの進出
- 海外オフショア拠点立上げ
- 1,000人を目指した基盤構築
- 積極的な人事制度構築
- 人材DBの構築

- 大型案件体制の構築
- 業界特化型サービス体系化

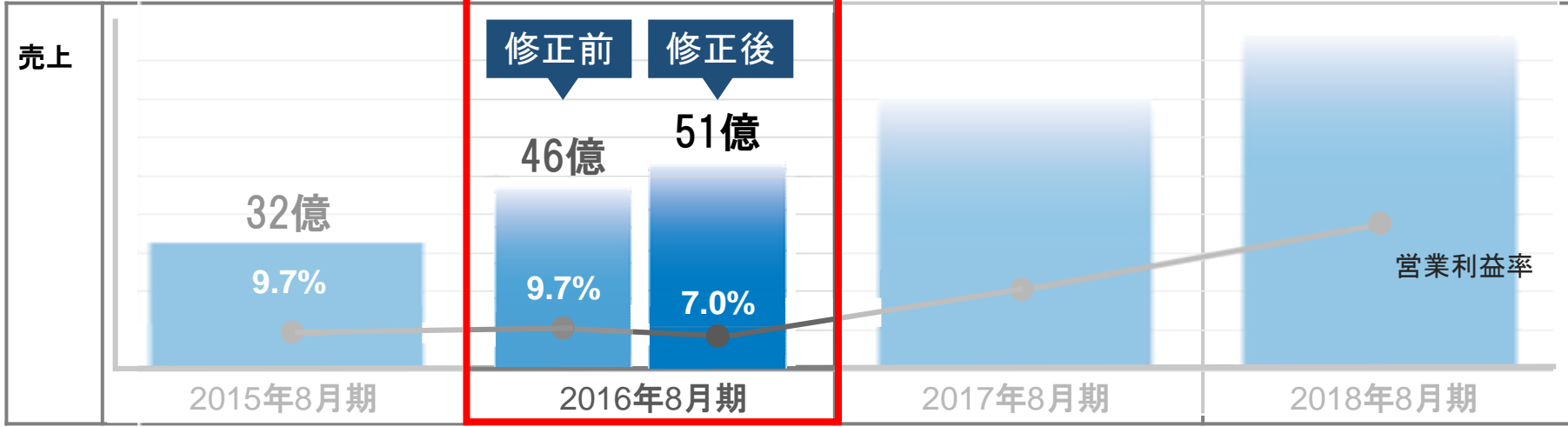
- M&Aによる領域拡大
- 海外販売拠点立上げ

- 基幹システムの刷新
- 経営人材の育成

- データ利用による価値貢献
- セグメントNo.1の実績創り

- 保守開発領域への進出

- グループ経営の実現



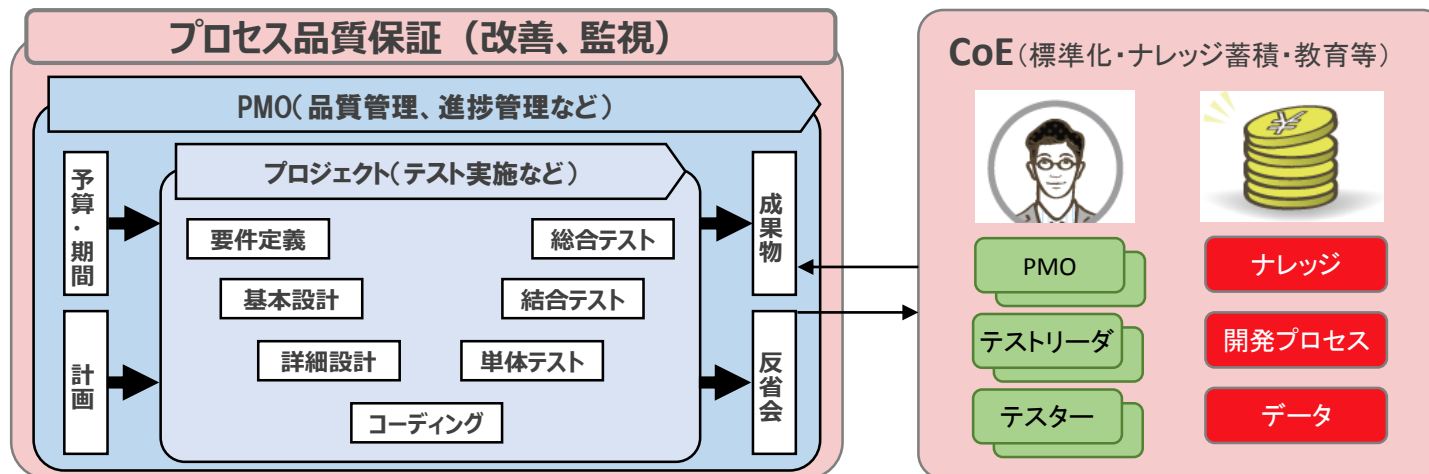
【SIer勝ちパターン構築】SIer向けサービスを拡大。プロジェクト単位から組織単位のサービスへ。高付加価値なサービスを積極展開

1. プロセス品質保証サービスを開始

- 複雑化する製品開発に対し、プロジェクト単位の品質管理だけでなく、組織単位のプロセス品質保証へサービスの領域を拡大。

2. テストCoEサービスを開始

- 専門的な業務知識を必要とするSIer業界に対し、部門横断的に品質保証リソース・ナレッジを集約させる体制「テストCoE」の構築・運用サービスを開始。

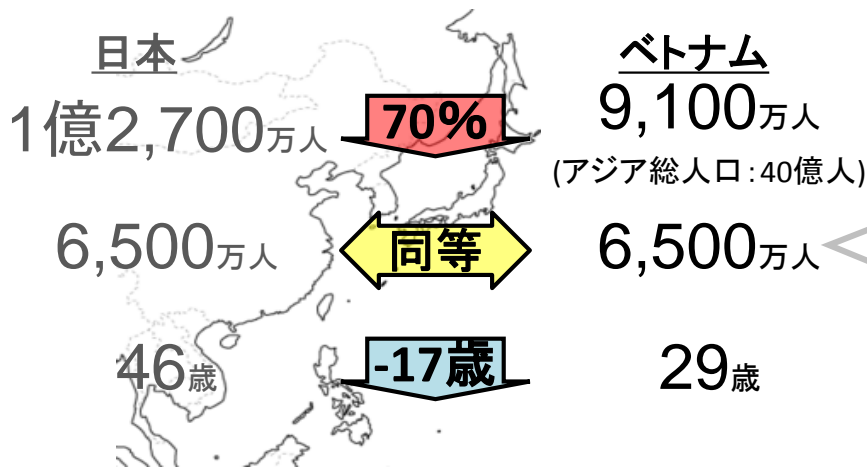


3. 成長戦略の進捗

【海外拠点】今後のグローバル展開におけるアジアテスト拠点、第一弾をベトナムに設立

■ベトナムの優位性

全人口
就業人口
国民平均年齢



■グローバル進出へ向けたステップ

着手中

優秀人材確保/育成

2016年8月期 上期

初期40名、通期100名のテストエンジニア獲得を目指す

⇒SHIFT流テスト手法を教育し、高品質なテストエンジニアへ

ベトナムでのSHIFT流テスト手法確立

～ 2016年8月期 下期

実案件を進める中で、教育した能力の開花/安定化

⇒日本案件を中心に、ベトナムの実力を実証する

案件/拠点のグローバル展開

～ 2017年8月期

案件をアジアや欧米に積極拡大するとともに、他拠点展開も実施

テストセンターネットワーク確立

～ 2018年8月期

グローバルテストセンターネットワーク確立

3. 成長戦略の進捗

【M&A】ソフトウェアの開発、品質管理に精通した優秀な人材と組込開発・検証業務のノウハウを獲得、今後の成長に大きく貢献

■ 新規連結子会社



社名 株式会社リベロ・プロジェクト

設立 2008年9月26日

資本金 80百万円

事業内容 【ソリューション事業】
・モバイルキャリア向け検証業務
・システム開発、組込開発、検証

子会社化によるメリット

■ 専門的な知見を持った人材を確保

- パートナー人材との置換により粗利率向上
- システム開発、組込開発へのSHIFTのテストノウハウ活用
- 保守運用などの新サービス確立/強化

■ 顧客ポートフォリオ共有

- 両者の持つ顧客に対するサービス領域、品質の向上



「人材」と「技術」の効率的な共有と活用により、より付加価値の高いサービスの提供を目指す

【人事制度】個々にフォーカスをあてた、プロフェッショナルの育成に注力

職種が様々な存在する状況の中、
多様なキャリアラインを設けることで、
働きがいのある、
プロフェッショナルが集まった組織創りを推進

キャリア構築

- **10種類**のキャリアラインを設定
- 個々の素養と、キャリアプランを元に、専門性を追求する。

キャリアアップ支援

- キャリアラインごとの育成、勉強会
- 効果的なプロフェッショナルの育成を進める。

評価/賞与制度

- 給与テーブルの細分化
- ESOPなどの個々の成果に応じたインセンティブの導入

4. 今期計画および足元

4. 今期計画および足元

第2四半期、通期業績予想値に関して、売上高を上方、利益を下方修正

■ 修正理由

- 好調な受注環境を受け、対前年同四半期比73.1%増収で着地、予想を上回って推移いたしました。当第2四半期につきましても、業績は予想を上回って推移しており、売上高は大幅に当初見込みを上回る見通しとなりました。
- また、通期業績予想につきましても、売上高は当第1四半期の実績および足元の業績動向から、好調に推移するものと予想し、通期では新たに取得した子会社の増収貢献も期待できるため、当初予想を上回る見通しとさせていただきます。
- 一方こうした好調な売上見通しの中、中期成長戦略「SHIFT' 100」を定め、売上高100億円に向けた投資活動も積極的に推進しております。M&A関連、海外進出のための準備費用、ESOPなどSHIFTの基盤強化に対する費用が予想を上回って発生したことから、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益は当初見通しを下回る予想となりました。

第2四半期 累計期間 連結業績

(単位: 百万円)	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	2,161	194	184	113	7 円 86 銭
今回修正予想(B)	2,394	162	154	93	6 円 49 銭
増減額(B-A)	233	△31	△29	△19	-
増減率(%)	10.8	△16.1	△16.0	△17.4	-

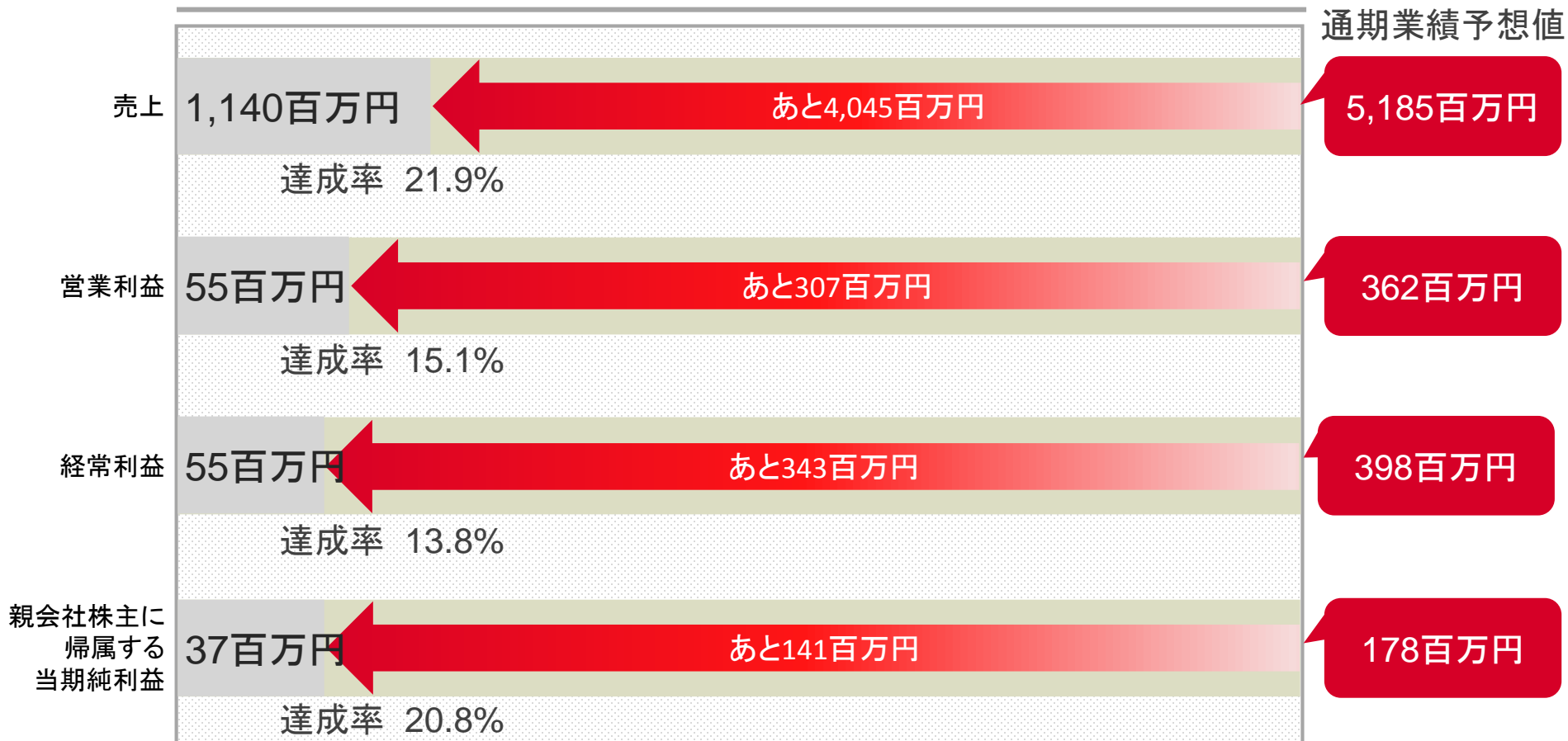
通期 累計期間 連結業績

(単位: 百万円)	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	4,687	458	495	288	20 円 00 銭
今回修正予想(B)	5,185	362	398	178	12 円 36 銭
増減額(B-A)	497	△96	△97	△110	-
増減率(%)	10.6	△21.0	△19.6	△38.2	-

4. 今期計画および足元

業績見通し

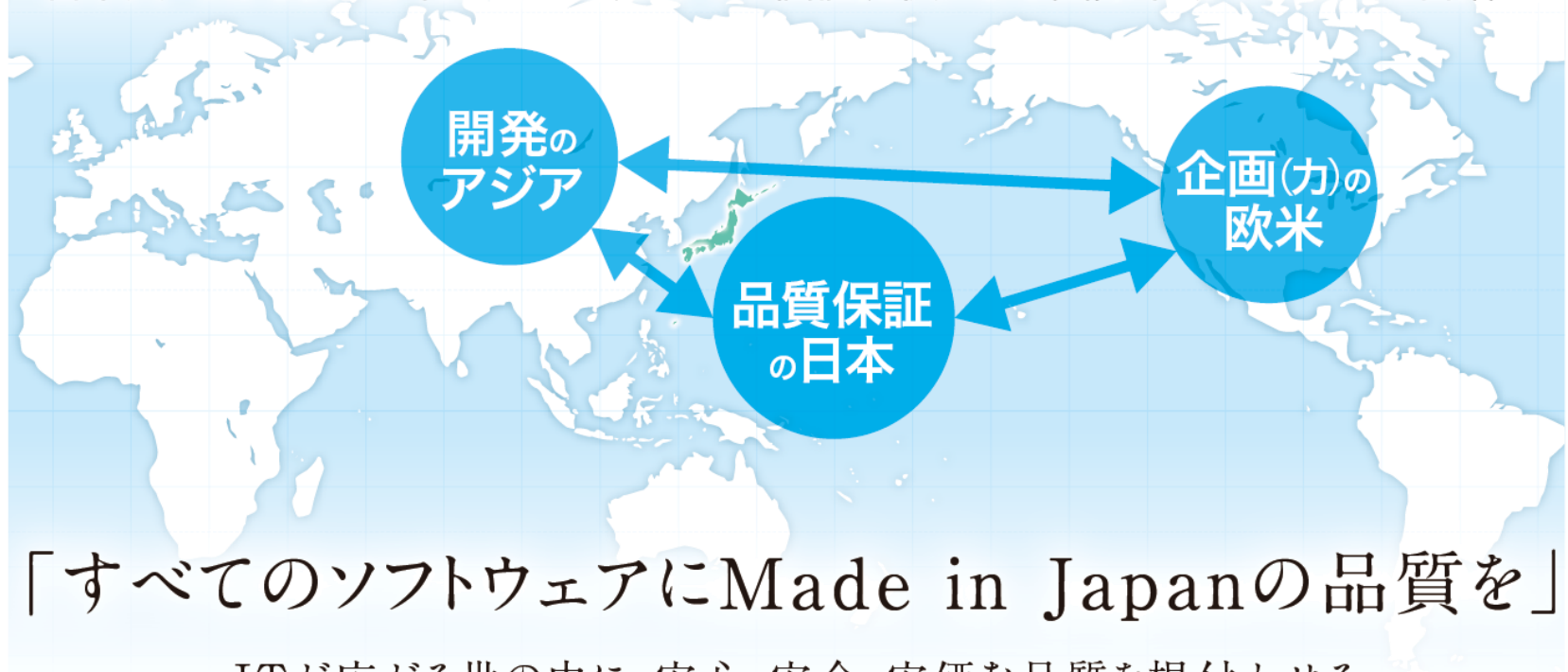
堅調な受注環境の下、トップラインは順調に成長
中長期成長へ向けた投資活動の推進により利益成長は鈍化



この産業が日本発、世界へ行く為に

グローバルな分業が進む、ソフトウェアの製品開発。

“日本人”である我々が得意とする分野での価値提供による国際市場での拡大を目指す。



「すべてのソフトウェアにMade in Japanの品質を」

ITが広がる世の中に、安心・安全・安価な品質を根付かせる。

これがSHIFTの目指す未来です。

将来見通しに関する注意事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。

これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらのリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報や将来の出来事等があった場合であっても、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

株式会社SHIFT

<http://www.shiftinc.jp/>

■お問い合わせ

ir_info@shiftinc.jp